

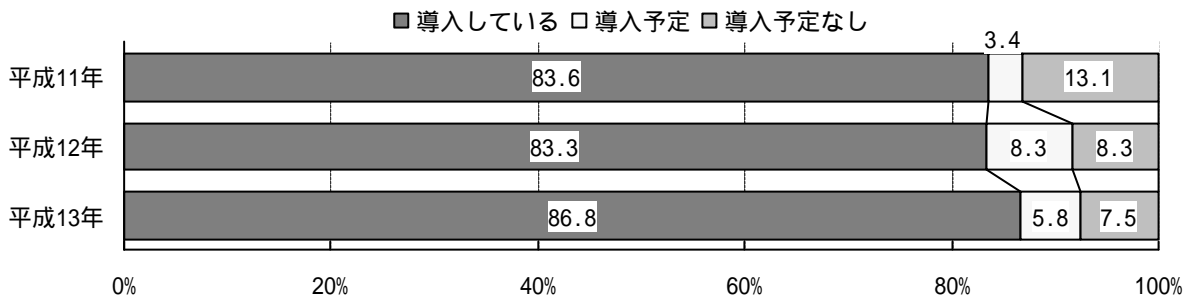
## インターネット利用動向について ~ 県内企業のネット普及率は 58.6% ~

### はじめに

総務省「情報通信白書」によれば、従業員数 300 人以上の企業（農業、林業、漁業及び工業を除く）におけるインターネット普及率は平成 12 年度には 95.8% となっており、前年比 7.2% 増と順調に増加している。インターネットを始めとする IT（情報通信技術）を、生産性の向上やビジネスチャンスの拡大などに利用している企業もあり、その活用方法に依然として注目が集まっている。そこで、昨年に引続いて県内企業のインターネット利用動向について調査・分析を行った。

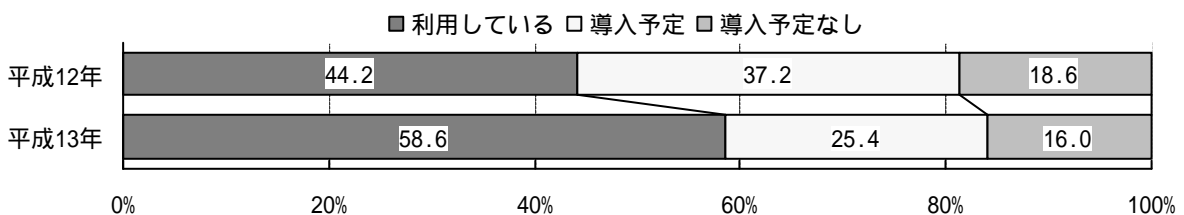
### パソコン導入率

パソコンについては、「導入している」とする企業が平成 11～12 年ではほぼ同割合で推移していたのに対し、今回の調査では 86.8% と前年比 3.5 ポイントの増加となった。また、「導入予定なし」とする企業は減少傾向にあり、今回の調査では 7.5% となった。



### インターネット普及率

インターネットを「利用している」とする企業は、全体で 58.6% と前年比 14.4 ポイントと大幅に増加した。また、「導入予定」が 11.8 ポイント減少し 25.4%、「導入予定なし」も 2.6 ポイント減少し 16.0% になった。なお、大阪商工会議所の調査（平成 12 年 12 月）によると大阪府内の企業のネット普及率は 86.8%、中小企業だけでも 78.8% であったことから、本県は大阪と比較してネット化が大きく遅れていることがわかる。



(%)

業種	利用している	導入予定	導入予定なし
建設業	60.3(55.2)	32.8(34.5)	6.9(10.3)
製造業	60.2(47.7)	17.7(33.3)	22.1(18.9)
商業	53.9(36.7)	33.1(45.3)	13.0(18.0)
サービス業	60.8(44.2)	21.6(34.3)	17.5(21.5)

( ) 内は平成12年調査結果

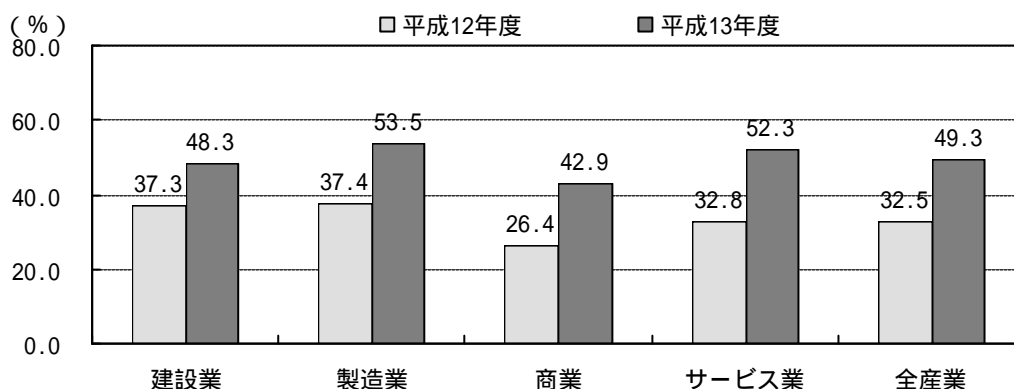
産業別で見ると、各産業とも前年に比べインターネットを「利用している」企業が増加した。なお、商業以外の 3 産業では 6 割の企業で利用されていた。また、「導入予定なし」では、建設業が最も少なく、次いで商業、サービス業、製造業の順となっている。なお、製造業のみ「導入予定なし」とする企業の割合が増加していた。

従業員数	（％）		
	利用している	導入予定	導入予定なし
5人未満	51.6	34.1	14.3
5～10人未満	54.1	25.9	20.0
10～20人未満	56.2	26.4	17.4
20～50人未満	62.6	22.8	14.6
50～300人未満	65.6	19.4	15.1
300人以上	100.0	0.0	0.0

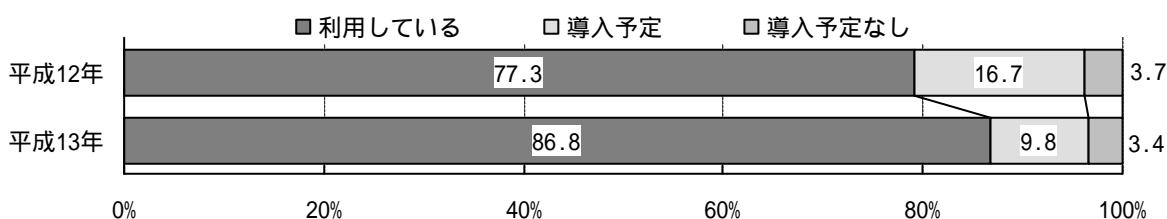
また、従業員数別で見ると、従業員が少ない企業ほど、インターネットの普及率が低いことがわかる。300人以上の規模では、全ての企業でネットを利用していたのに対し、従業員数5人未満の規模では、2社に1社の割合という結果になった。

### 電子メール利用

県内で電子メールを利用している企業は49.3%と、前年比16.8ポイントの増加となった。産業別で見ると、製造業が53.5%と最も高く、以下サービス業、建設業、商業の順となった。なお、サービス業では前年比19.5ポイント増加しており、上げ幅では最も大きいものとなった。

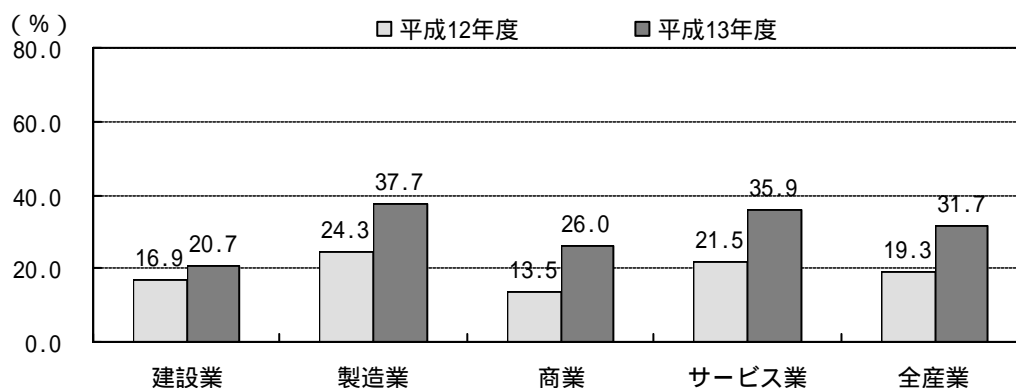


インターネット利用企業における電子メールの利用率は、9.5ポイント増加して86.8%となった。また、「導入予定」、「導入予定なし」としている企業は、ともに減少しそれぞれ9.8%、3.4%となった。ネット利用企業では、電子メールが通信手段の一つとして定着しつつあるものと考えられる。

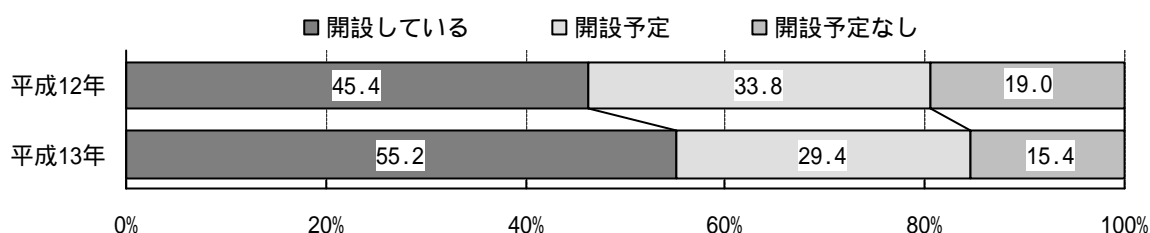


### ホームページ開設

ホームページについては、県内企業の31.7%が開設しており、12.4ポイントの増加となった。産業別で見ると、製造業が37.7%と最も高く、以下サービス業、商業、建設業の順となった。なお、建設業では電子メール利用率と比較して、ホームページの開設率が低いことがわかる。



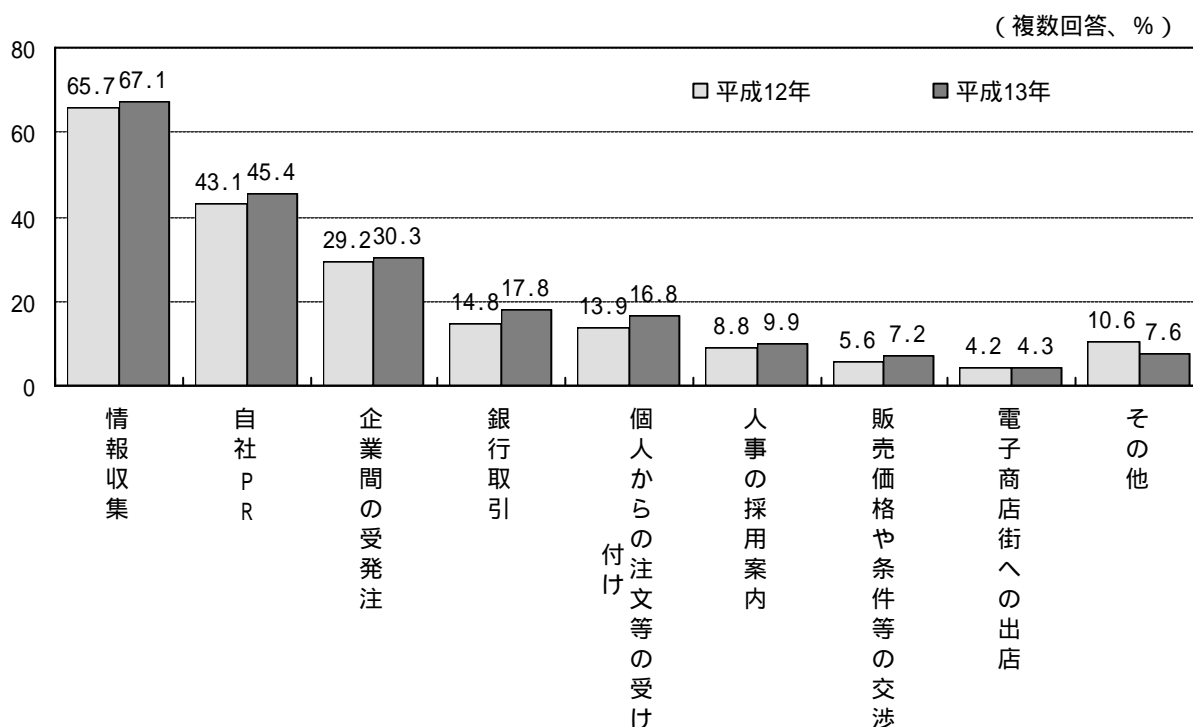
インターネット利用企業におけるホームページの開設率は、前年比 9.8 ポイント増加し 55.2% となった。ネット利用企業の 2 社に 1 社が既にホームページを開設していることになる。なお、「開設予定」の企業は、減少したものの依然約 3 割を占めた。なお、「開設予定なし」は 3.6 ポイント減少し 15.4%であった。



### インターネット活用方法

インターネットを利用している企業の活用方法については、「情報収集」が最も多く 67.1% を占めた。次いで多かったのが「自社 PR」の 45.4% で、以下「企業間の受発注」、「銀行取引」、「個人からの注文等の受け付け」、「人事の採用案内」という順になり、各項目の順位については前年と同様の結果となった。

電子商取引と言われる「企業間の受発注」、「個人からの注文等の受け付け」、「電子商店街への出店」は、依然として県内企業における取引の主流とはなっていない。



### おわりに

全国と同じく和歌山県内においてもインターネットの利用企業は増加傾向にあったが、他府県における同様の調査などと比較すると、県内企業のネット普及率は高いとは言えない。

IT の導入には、投資効果が不透明、資金の不足、具体的な活用方法が不明、人材の確保が困難等の課題を挙げる中小企業も少なくない。特に、県内企業においては 3 社に 1 社が「実践的な IT 活用研修・アドバイス」の実施を求めている。

この現状からも、県内企業のネット化、IT 化を推進していくためには、高度な活用事例、大企業における取組みの紹介なども必要であると思われるが、まず具体的かつ実践的な活用方法や身近な事例の紹介等を通じ、県内企業の IT に対する認識を高めていくことが有効なのではないかと思われる。